



2020年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月26日

上場会社名 理研コランダム株式会社
 コード番号 5395 URL <http://www.rikencorundum.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 富美雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 石川 和男

TEL 048-596-4411

四半期報告書提出予定日 2020年5月27日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	985	9.2	13		1	90.6	1	93.7
2019年12月期第1四半期	1,085	5.6	5		14	1.5	14	15.0

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 107百万円 (%) 2019年12月期第1四半期 50百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	0.95	
2019年12月期第1四半期	15.10	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	5,752	4,099	71.3
2019年12月期	5,990	4,234	70.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 4,099百万円 2019年12月期 4,234百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		30.00		30.00	60.00
2020年12月期					
2020年12月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,160	2.1	34	164.2	71		48	380.9	52.06
通期	4,240	1.6	20		67	5.1	241		261.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

新型コロナウイルス感染症拡大がもたらす連結業績に与える影響は現時点において合理的に算定することが困難であるため、第2四半期連結累計期間及び、通期の連結業績予想は変更しておりません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	922,128 株	2019年12月期	922,128 株
期末自己株式数	2020年12月期1Q	54 株	2019年12月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	922,087 株	2019年12月期1Q	922,210 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、「添付資料2ページ」1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にあります。個人消費は急速に減少、設備投資はおおむね横ばい、輸出・生産は減少、企業収益は急速に減少し、企業の業況判断も急速に悪化しています。先行きについては、感染症の影響による極めて厳しい状況が続くと見込まれます。また、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要があります。金融資本市場の変動等の影響も注視する必要があります。

このようななか、当社グループの売上については、研磨布紙の建材関連向け製品は前年同期並みに推移しましたが、研磨布紙の金属加工用および精密加工用製品の受注が減少、また、得意先の加工工程変更により研磨材のハードディスクの表面加工用の採用停止が響き、売上高は985,121千円（前年同期比9.2%減）となりました。

また利益面においては、売上高の減少による粗利の減少および年金資産の時価評価減少により退職給付費用の増加したことから営業損失13,010千円（前年同期は営業損失5,036千円）となり、経常利益については持分法適用関連会社である中国の合弁会社「淄博理研泰山塗附磨具有限公司」の売上高が減少したことにより持分法による投資利益が減少したことから1,347千円（前年同期比90.6%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は876千円（前年同期比93.7%減）となりました。

セグメントの概況は、以下のとおりであります。

(研磨布紙等製造販売事業)

当社グループの中核事業である研磨布紙等製造販売事業の当第1四半期連結累計期間の業況は、建材関連向けの製品は堅調でありましたが、精密加工用の製品の受注減や研磨材のハードディスク表面加工用の採用停止により減少し、売上高は762,975千円（前年同期比11.1%減）となり、売上高の減少による粗利の減少や年金資産の時価評価減少による退職給付費用の増加もあり、営業損失35,739千円（前年同期は14,025千円の営業損失）となりました。

(OA器材部材等製造販売事業)

当社グループにおいて事務機器に組み込まれる紙送り用各種ローラー部品の受注生産をしているOA器材部材等製造販売事業の当第1四半期連結累計期間の業況は、販売所管の見直しにより報告セグメントの変更に伴い、売上高は若干減少し153,894千円（前年同期比4.1%減）となり、営業利益は売上高の減少から31,526千円（前年同期比7.4%減）となりました。

(不動産賃貸事業)

イオンリテールストア株式会社に賃貸しております理研神谷ビルの賃貸収入やその他の賃貸収入の売上高は68,252千円（前前年同期比1.8%増）となり、営業利益は前期に理研神谷ビルの減損損失計上により減価償却費負担が減少したことから54,415千円（前年同期比15.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ237,569千円減少し、5,752,108千円になりました。これは主に、現金及び預金が55,445千円減少、売上高の減少により売上債権が48,222千円減少、株価の下落により投資有価証券および親会社株式が102,297千円減少、年金資産の時価評価金額の減少により退職給付に係る資産が22,605千円減少したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ103,099千円減少し、1,652,874千円になりました。これは主に、約定返済が進んだことにより借入金70,800千円減少、投資有価証券および親会社株式の減少により繰延税金負債が39,612千円減少したものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ134,470千円減少し、4,099,234千円になりました。これは主に、株価下落によりその他有価証券評価差額金が71,096千円減少、人民元に対する円高により為替換算調整勘定が35,546千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月14日の決算短信で公表致しました、2020年12月期連結業績予想の数値は、現時点において新型コロナウイルス感染症拡大がもたらす連結業績に与える影響を合理的に算定することが困難であるため、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想は変更しておりません。

今後、合理的な算定が可能となり、開示が必要であると判断された時点で、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	390,057	334,612
受取手形及び売掛金	※ 986,181	※ 937,959
商品及び製品	346,746	371,235
仕掛品	430,625	462,471
原材料及び貯蔵品	182,312	156,482
その他	15,304	14,188
貸倒引当金	△5,105	△5,457
流動資産合計	2,346,120	2,271,490
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,686,496	3,693,361
減価償却累計額	△2,908,079	△2,909,447
建物及び構築物 (純額)	778,417	783,914
機械装置及び運搬具	1,853,892	1,519,910
減価償却累計額	△1,599,005	△1,251,867
機械装置及び運搬具 (純額)	254,887	268,043
その他	852,145	784,107
減価償却累計額	△420,441	△387,342
その他 (純額)	431,704	396,765
有形固定資産合計	1,465,009	1,448,722
無形固定資産		
投資その他の資産	60,024	57,190
投資有価証券	403,173	318,026
親会社株式	397,390	380,240
関係会社出資金	1,268,974	1,251,333
退職給付に係る資産	22,605	—
その他	37,232	25,157
貸倒引当金	△10,850	△50
投資その他の資産合計	2,118,525	1,974,707
固定資産合計	3,643,557	3,480,619
資産合計	5,989,677	5,752,108

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※ 787,762	※ 785,488
短期借入金	230,000	182,000
1年内返済予定の長期借入金	81,200	75,200
リース債務	10,666	12,986
未払法人税等	3,618	2,959
賞与引当金	—	37,000
その他	154,415	123,624
流動負債合計	1,267,661	1,219,257
固定負債		
長期借入金	116,000	99,200
リース債務	34,285	34,273
繰延税金負債	272,775	233,163
退職給付に係る負債	—	1,948
長期預り金	51,952	51,952
資産除去債務	10,000	10,000
その他	3,300	3,080
固定負債合計	488,312	433,617
負債合計	1,755,973	1,652,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	89,675	89,675
利益剰余金	3,276,037	3,249,250
自己株式	—	△124
株主資本合計	3,865,712	3,838,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	310,955	239,858
繰延ヘッジ損益	509	△407
為替換算調整勘定	56,528	20,982
その他の包括利益累計額合計	367,992	260,434
純資産合計	4,233,704	4,099,234
負債純資産合計	5,989,677	5,752,108

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,085,274	985,121
売上原価	886,470	811,029
売上総利益	198,804	174,092
販売費及び一般管理費	203,840	187,102
営業損失(△)	△5,036	△13,010
営業外収益		
持分法による投資利益	21,529	14,792
為替差益	—	1,469
その他	2,738	2,156
営業外収益合計	24,267	18,418
営業外費用		
支払利息	1,087	946
売上割引	2,692	2,779
為替差損	574	—
その他	476	337
営業外費用合計	4,829	4,062
経常利益	14,403	1,347
特別損失		
固定資産除却損	—	3,377
特別損失合計	—	3,377
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	14,403	△2,031
法人税、住民税及び事業税	1,369	5,281
法人税等調整額	△896	△8,188
法人税等合計	473	△2,907
四半期純利益	13,930	876
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,930	876

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	13,930	876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,501	△71,096
繰延ヘッジ損益	388	△916
為替換算調整勘定	2,324	△3,113
持分法適用会社に対する持分相当額	27,134	△32,433
その他の包括利益合計	36,347	△107,558
四半期包括利益	50,277	△106,682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,277	△106,682
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①簡便な会計処理

(i) 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基盤として合理的な方法により算定する方法によっております。

(ii) 繰延税金資産及び繰延税負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	研磨布紙等 製造販売事業	OA器材部材等 製造販売事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	857,778	160,444	67,052	1,085,274	—	1,085,274
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	857,778	160,444	67,052	1,085,274	—	1,085,274
セグメント利益又は損失(△)	△14,025	34,062	47,108	67,146	△72,181	△5,036

(注) 1. セグメント利益の調整額△72,181千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に連結財務諸表提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	研磨布紙等 製造販売事業	OA器材部材等 製造販売事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	762,975	153,894	68,252	985,121	—	985,121
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	762,975	153,894	68,252	985,121	—	985,121
セグメント利益又は損失(△)	△35,739	31,526	54,415	50,201	△63,211	△13,010

(注) 1. セグメント利益の調整額△63,211千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に連結財務諸表提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。